



ヨッカ ニュース YOCCA NEWS

Yotsukaido Cross-Cultural Association News

四街道市国際交流協会広報誌

Vol. 1
創刊号
2011.12.1

リバモアから日本へ～太平洋を渡った千羽鶴～

今年もリバモアから総勢 27 人の短期留学生および随行者がやってきました。今年とは例年と違うことが一つありました。3月11日の東日本大震災を受け、LYSCO（リバモア・四街道姉妹都市市民の会）が日本のために義援金を募っていただきました。しかも千羽鶴まで折って四街道に届けてくださったのです。

このたびの来市にあたって、75 人の子どもたちの応募があり、選考で 20 人に絞られたそうです。これらは5月中に行われましたが、当時はほとんど毎日のように余震があり、放射能の問題も国内外で大きく取り上げられていました。「今年は来てくれるだろうか？」と私たちは懸念を募らせていました。しかし、LYSCO のキース会長の返事は「日本の情報は毎日チェックしている。参加者のだれからもそのような懸念も質問も来ていない。むしろ、みんな四街道のあなたたちのことを心配している」というものでした。何と云っても、日本が地震と放射能による（風評を含めた）被害を受けている折に、募集人数の 3 倍以上もの応募があったことに四街道とリバモアの絆の強さが表れているような気がします。

今回の交流で一段と友情と絆を深めた両国の子どもたち。楽しい思い出を胸に去っていった後も、リバモアの人たちが一羽一羽、日本への愛と復興への願いを込めて丁寧に折ってくださった千羽鶴は私たちのそばで羽を休めています。

国際交流センターに展示してあるこの千羽鶴。国籍も人種も超えて 34 年の長きにわたり育んできた絆と友情の深さを、ぜひ感じていただければと思います。



ごあいさつ

現在会員数約 150 人。協会が始動して 5 カ月が経ちました。

スクスク English やリバモア姉妹都市短期留学生及び随行者来訪受け入れ時の通訳業務、通訳翻訳勉強会を除いてすべてが既存の事業でしたが、協会と言う新しい受け皿のもとほかの都市の国際交流協会や地域との新しいつながりが生まれました。これら既存事業を発展的に継承しながら、次年度から新規事業にも着手します。

この数カ月で今更ながら深く感じ入ったことがあります。“人と人との出会いからすべてが始まり、すべてが生まれ、すべてが育まれる”。これからも一つ一つの出会いを大切に活動を進めて行きたいと思います！

四街道市国際交流協会会長・事務局長
武野 寛子

目次・Contents

- P1. 姉妹都市リバモアからのプレゼント
会長あいさつ
- P2. 姉妹都市リバモアから短期留学生と随行者来市
- P3. 日本語スピーチ発表会を開催しました
- P4. 【連載外国籍市民インタビュー】クローズアップ！
【連載トピック】市内の団体紹介
- P5. 【連載コラム】Think You Know Yotsukaido!?
【連載コーナー】四街道クイズ
- P6. 【多言語情報】四街道市からのお知らせ
“平成24年度保育所・保育園入所案内”
- P7. 各部会の活動紹介
- P8. 【ピックアップ】初めまして～所属会員の自己紹介～
協会からのお知らせとイベントスケジュール
編集後記、会員募集のご案内



リバモアから短期留学生と随行者が来市!



カリフォルニア州リバモア市から、今年も子どもたちがやってきました!

10月21日(金)夕方に四街道に到着した総勢27人の短期留学生および随行者は、市役所食堂にてホストファミリーと対面しました。

留学生とホストファミリーの名前が読み上げられ、ドキドキのご対面。でも、中には上手に日本語で「初めまして」と言う子や、丁寧に辞儀をしながら握手をする子などがいて、きちんと日本文化を勉強してきたことが伺えました。

アメリカから荷物を抱えダイレクトに四街道に来た一行は、ホストファミリーと一緒に家路に着きました。



時差ボケが始まったばかり(?)の到着翌日。商工会館で歓迎式が行われました。ハロウィーンの時期が近いだけに、皆さん思い思いのコスチュームに身を包みました。中でも、LYSCO(リバモア・四街道姉妹都市市民の会)とYOCCAの姉妹都市部会長のコスチュームは参加者の注目を集めました!



普段は見られない! 思い思いのコスチューム

ショータイムでは、四街道のよさこいソーランチーム「舞粹風」(まいかぜ)やリバモアの子どもたちによるパフォーマンス、二人羽織での「ケーキ食い競争」などで大いに盛り上がりました。そしてシメの岡山県発祥「うらじゃ音頭」で、国籍も立場も超え、参加者全員が一つになりました。



日本で過ごした充実の毎日!

短期留学生たちは、ホストファミリーの子どもたちと一緒に中学校に行き、他の生徒たちとも交流を深めました。またホストファミリーの人たちと料理を楽しんだり、テーマパークに行ったりと、楽しいひとときを過ごしました。随行者の人たちも、佐倉の堀田邸や酒々井の酒造会社を訪ね、日本文化に親しみました。

帰国の前日には、留学生と随行者全員で上野動物園や浅草に。そしていよいよ帰国の日。まるで時間を惜しむかのように、出発の直前まで日本での遊びを満喫しました。帰国後すぐにLYSCO会長のキース・ジェス氏よりメッセージをいただきました。



Hello All,
We are all home safe and with our families.
Thank you for a great week...
we look forward to seeing you in March.
Keith

皆さんこんにちは。私たちは全員、無事リバモアに帰ってきました。素晴らしい1週間をありがとうございました。また来年3月にお会いできることを楽しみにしています。



一生の思い出と永遠の絆が生まれました!



日本語 スピーチ 発表会

外国籍市民たちが日ごろの思いを語る「日本語スピーチ発表会」が、11月3日(祝)の市民文化祭にて行われました。これは「旧・四街道国際交流友の会」の創立10周年を記念して始まった催しで、今年で4回目を迎えました。会場の文化センター208号室は立ち見ができたほどの盛況ぶり。「今回は小ホールでやれるんじゃない?」という声もちらほら聞かれました。今年には市外の人にも参加していただき、総勢7人の発表者の皆さんの、熱のこもったスピーチを聞くことができました。また、今年初の試み。ゲストスピーカーとして中国帰国者のお2人にもご参加いただきました。



「里帰り」

小嶋 ジュリアさん(フィリピン)。YOCCA日本語教室の現役学習者。

1年ぶりに帰った故郷は、フィリピンの田舎。大自然の中で大好きなみんなと共に過ごした3カ月は、全てが懐かしかった。あっと言う間だったけど、特別な日々でした。



「日本語とわたし」

王 默晗さん(中国)。愛国学園大学の留学生。

父は日本語の先生。だから子どものころから日本語に触れて育ったけど、勉強してみると難しい。でも、「これをください」とさえ言えたら、日本で生きていける」という父の一言で吹切れました。字幕のあるお笑い番組が日本語の勉強に役立ちました。今私は日本が大好きです。



「日本で体験したこと」

潘 燕娜さん(中国)。浦安市在住。

「1万冊の本を読むより、万里の道を歩く方が良い。」私は来日してからいろいろな体験をしたし、親切な人たちにも会った。そして日本語教室に希望の光を見いだした。収穫の秋を迎えた今、振り返れば私も、今年はたくさんの収穫をしました。



「微笑みの国から、そして今」

小澤 ドゥワンペンさん(タイ)。旧四街道国際交流友の会の日本語学習者。

「微笑みの国」と呼ばれるタイから来た私は、同じく微笑みの国から来た人に助けられた。日本語が話せる人だったのでとても心強く感じました。その人のおかげで、私も日本語が話せるようになり、買い物も一人でできるまでになりました。今はスーパーでの仕事を頑張っています。



「日本での体験」

馬 騏さん(中国)。千葉市在住。協会会員の数十年の友人。

中国は隣近所もみんな家族のような付き合い。でも経済発展によってそれも少なくなってきた。日本も同じと聞かすが、東日本大震災後はお互いに助け合い、支え合っている。中国はこれから豊かになっても、人間味のある社会であってほしい。



「一本の草に一粒の露」

陳 紀安さん(台湾)。第1回スピーチ発表会に初参加。全国高校生弁論大会で2位に輝く猛者。

来日した小学生当時に感じた日台間の大きな壁。でも、苦しみながらも日本を理解しようとした私を、やがて周囲の人たちは受け入れてくれた。さまざまな違いから生まれる、偏見や敵対心を乗り越えながら現実世界を生きることは、きっと可能だ。



「心を届ける」

V.G. ルワン・ランディマさん(スリランカ)。四街道在住

14年。

地震当日車を運転していた私は路頭をさまよう人たちに「ご自宅まで送りますよ。」と声を掛けて回った。福島や千葉県旭市でカレーの炊き出しをした。なぜなら私に親切してくれた日本の皆さんに、自分ができることだったからだ。地震と闘う皆さんこそ本当の“侍”です。



「帰国して23年」

ゲストスピーカー：清水 礼子さん

23年前に、中国帰国者として来日。日本語を勉強して病院勤務。その後日中の医療用語の違いに、やむを得ず退職。でも夫と二人三脚で頑張りました。再び日本語の勉強を始めた私は、今充実した暮らしを楽しんでいます。



「もう一度日本語」

ゲストスピーカー：安田 善吉さん

小学校で言われた「あなたは日本人です」。中国人だと信じていたのに・・・そんな私が来日し、日本語を勉強した後には市内で就職。腰を痛めて止むなく職場を去った私は、ほかの帰国者と共にもう一度日本語の勉強を始めた。

今年やはり、3.11 関連の話題を盛り込んだスピーチが目立ちました。外国籍市民の人たちからの温かいメッセージに心を動かされ、涙した聴衆もいました。主催の YOCCA 武野会長からは「私たちがこのスピーチ発表会で得た収穫は計り知れません。スピーカーの皆さんに心からお礼を言いたいです」との言葉。マジックショーやミャンマーの民族舞踊でほっと一息つき、会場の熱気を冷ました後、日本語指導ボランティアの講師を務める寺内久仁子先生より、スピーチ参加者ひとりひとりへの講評が行われ、そして全員に記念品が贈呈されました。(※第1回目は最優秀賞などの賞を設けていましたが、優劣を競うことが主旨ではないとの声から、2回目以降は全員への記念品贈呈となりました。)



来年はどんな言葉を聞けるのでしょうか。早くも今から楽しみです!

クローズアップ!



YOCCAの外国人会員や四街道市内在住の外国籍市民にインタビューするこのコーナー。初回はYOCCA副会長のデボン・マクネアさん。マイクロソフトやスターバックスの誕生したまちとして有名で、マリナーズのイチロー人気に湧くシアトル出身のマクネアさん。仕事で訪れた日本に心惹かれ、今では「日本のシアトル」と呼ばれる(嘘!)四街道での生活を心から楽しんでいます。

人との触れ合いを通じて日本に惹かれ、今は自然いっぱいの四街道が大好き。
YOCCA副会長 Devon McNare (デボン マクネア) さん

アメリカ・ワシントン州出身。1996年に出張で来日。日本に惹かれ2002年に再来日。四街道には2005年から在住。2006年からはALT (Assistant Language Teacher 外国語指導助手) に従事。2011年7月からYOCCAの副会長を務める。

来日前～日本には関心がなかった～

今でこそ日本語をかなり話しますが、来日する前は特に日本には関心がありませんでした。

『宇宙戦艦ヤマト』がアメリカでも放映されてましたが、タイトルが“Star Blazer”だったので、日本のアニメとは思っていませんでした。来日前に勤めていたコンピューターソフト制作会社の社長は日本人でしたが、それはまったくの偶然です。

日本との出会い～出張から始まった～

日本に住み始めたのは2003年、でも初来日はそれより随分前です。1996年、出張で大阪に来た時でした。滞在中に日本語、特に文字に興味を持ちました。アメリカに帰国後、カタカナを独学で勉強し始め、やがて日本人の先生からプライベートレッスンも受けるようになりました。2000年頃にITパブルが弾け、会社でも仕事が少なくなってきました。それで転職を考えましたが、その前にちょっと息抜きをしたいと思います。それで“自転車で日本一周”を思いつき、2002年に再び日本に来ました。予算が無かったので、安い宿泊施設に泊まったり、また

WWOOF (ウーフ: World Wide Opportunities on Organic Farms) という農作業をする代わりに食事と宿泊場所を提供するという機関を利用しました。WWOOFを通じて、ある農家が作っていたホームページに目が留まりました。とにかくカッコ良かったです。そこが私の日本一周の出発点。場所は、何と八街! 四街道にとっても近いですね。これも偶然です。

再来日～どんどん日本に惹かれて～

当時は日本語は人と何とかコミュニケーションを取れるレベルでしたが、人との触れ合いを通じてどんどん日本に惹かれ「このまま帰りたくない。もうちょっと日本にいたい。」と思うようになりました。それで2003年に仕事を探すために来日しました。就職活動の間は、以前お世話になった八街の農家に泊めていただきました。90日の観光ビザが切れる直前に、子ども英会話の職を得ました。これが日本での初めての仕事です。その後、2006年にALTの仕事に就き今に至ります。

大好きな四街道～自然がいっぱい!～

四街道の前は船橋に住んでいました。アメリカ人やカナダ人と一緒に部屋をシェアしていました。でもプライベートの空間が欲しいと思い、当時の日本語の先生に聞きました。「千葉と佐倉の間で、どこか良い所はありませんか?」。船橋だと家賃が高いし、佐倉より向こうだと電車の本数が少なくなってしまいますから。それで紹介されたのが大日のアパートでした。ちょうどそこに住んでいた外国人の先生が帰国する

ということで、その部屋に私がおさまりました。四街道は千葉まで10分、東京まで1時間の距離にありながら、自然が豊かなのがいいですね。自転車で20分ほど走ればホテルが見られますし、引っ越してきた当時はいろんな所を散歩しました。駅の周りのお店屋さんにも親切にいただきました。このまちは子育てにぴったりです。「どんぐりの森」や「ムクロジの里」などに行って夜空を眺めたり、カエルの鳴き声を聞いたり、ホテルを鑑賞できる。これは子どもにとって素晴らしい環境です。これからも四街道に住み続けるでしょう。

これから～YOCCAでやりたいこと～

もっと四街道に沢山の人が集まるようなイベントをやりたいですね。例えばライブなんか楽しいと思います。最初は少人数の参加でもいいので、いろんな国の人が思い思いに集まって音楽を奏でる。音楽なら言葉も年齢も関係ありません。ライブを聞きに東京へ、ではなく、四街道へ! という流れができれば、最高ですね。



市内で活動する
団体を紹介!

がり版アート・孔版画教室

がり版アート・孔版画は、明治時代中期に日本で生まれた約120年の歴史を持つ芸術です。

学校の先生が『習字のお手本を子どもたちに作ってあげたい』と考えてこの手法を使い始めたのが、普及のきっかけだったといえます。原紙に孔(あな)を空けたり、孔をふさいだり、またぼかしたりして作る孔版画の世界を、絵本の挿絵や風景画などの分野で長年活躍され、数多くの個展や展覧会、またメディアを通じて紹介されてきた西岡とし子先生が優しく教えてください。



西岡先生からのメッセージ

版画は絵を全く描かない人でもできます。言葉も関係ありません。国籍、年齢問わず、お気軽にご参加ください。

● 場所・開講日・参加費

- ・四街道公民館 (第1水曜) 9時～17時 月額1500円
- ・わろうべの里 (第3火曜) 13時～17時 月額1500円
- ・旭公民館 (第4日曜) 13時～17時 月額1500円
- ・市アシスト講座: 参加費無料(材料持参又は実費)
- ・栗山半台集会場 (第4火曜) 10時～12時 月額500円
- ・四街道カルチャーセンター (第2金曜) 10:15～12:15
※参加費毎回2500円・講師認定証発行

● 問い合わせ: TEL/FAX 043-422-6390

Think You Know Yotsukaido?

Part 1

四街道を知り尽くそう! 『四街道知ってるか!?!』

When you speak of Yotsukaido, the average person might think of Yotsukaido Station, Ito Yokado, recently the Mega-Donki, and Yotsukaido Park. But, like any place in Japan, under the apartment complexes, residential neighborhoods, convenience stores and shopping centers, is a place where people have lived for hundreds or thousands of years. My hope with this section of YOCCA NEWS is to explore the hidden layers of our town, and the places where you can still see a hint of “what was” under “what is.”

I had heard before that the name Yotsukaido came from one specific intersection where two old roads crossed. As our maiden voyage we (our historian Mr. Suzuki, our camera Ma’am Ms. Shiraishi, YOCCA’s energy source Mr. Tokuhashi and myself) decided to journey to the legendary heart of Yotsukaido – Yotsukaido Cross.



Lying on the north and east side of Yotsukaido Station, Yotsukaido is where highways 64 and 66, meet. There’s a gas station, a few small businesses, and a big old tree enclosed by a fence. Near the tree is an informative sign, and a weathered stone road marker. The gas station reminds me of gas stations of my childhood, before expressways or pay-by-credit-card, when families would stop, get out of the car, stretch their legs, fill up the gas tank, buy a coke, and rest.



Mr. Suzuki shows us that the stone road marker has four sides:

“North: Narita Mountain Road”

“South: Chiba Town Road”

“East: Togane, Umawatashi”

“West: Tokyo, Funabashi.”

The road marker has a date-stamp, 1881.

Chiba was a town, not a city. According to literature, this was “Yotsukado” (四つ角: Four Corners) before Yotsukaido (四街道: Four-Town Road) was ever a town.

The tree, an enoki (榎, Japanese hackberry) is certainly tall, but also very fat. Looking at the sign: “age of the tree unclear.” The sign also confirms what Mr. Suzuki told me, that trees were planted as markers

every “ri” (里, four kilometers) so travellers could follow the road, stop and rest. The next “marker” tree still remains up near Kuriyama. Ms. Shiraishi takes pictures of the intersection, and I pose with my hand-drawn road sign, trying to avoid getting in the way of the stream of traffic.



Mr. Suzuki seems to have disappeared. But in fact he’s struck gold. He reappears and tells me “I just talked to the gas station owner, Tsutomu Fukushima – his family has been running a business here for the last six generations.” My eyes grow wide, taking a moment to process that. Six generations – nearly two hundred years?! The weathered stone road marker sounds new by comparison. Two hundred years ago, what kind of a business would you expect at a crossroads of two major roads, near a tree for shade, where travellers on foot or horseback might stop and rest? A tea shop, of course! In the same spot as the Eneos gas station, that I’ve driven by or walked by hundreds of times, stood a little tea shop.

While Mr. Suzuki and Mr. Fukushima converse I strain to follow the conversation. Some points which struck me:

-- Mr. Fukushima’s great-grandfather, Wakichi Fukushima actually gave Yotsukaido its name.

-- The gas station opened in 1961, eight years before I was born.

-- The enoki tree is at least 370 years old.

-- On both sides of the road there used to be tea orchards, providing the tea to serve to customers.

-- When Mr. Fukushima was young the enoki tree was nearly twice as high, but its whole north side was torn off by a typhoon.

-- Some accounts state that the enoki tree was moved from its original location, but Mr. Fukushima insists it has always been in the same place. (We are currently searching for satellite images from Edo Japan to help resolve this issue.)

Mr. Fukushima asks me a bit about myself (on hearing I’m from Seattle he says “Oh I have family living in Seattle!”) We then thank him many times, and head back to the YOCCA office.

From now on I’ll never look at the little gas station as just a gas station. Instead I’ll see a dirt road with horses and carts, travellers sipping tea under a shade tree, and a family doing business at this crossroads before my hometown of Seattle ever existed.

“Think You Know Yotsukaido?” の日本語訳を会員向けに配布しています。希望する人は協会までご連絡ください。

四街道クイズ

四街道市の登録
外国人数は?

2011年10月末現在の四街道市の登録外国人数は1,222人。人数順では第1位は中国で384人、第2位はアフガニスタンで197人、第3位がフィリピンで178人、第4位が韓国で89人、第5位はタイで45人、第6位はスリランカとアメリカが同数の26人、第8位がパキスタンで17人、第9位が同数の16人でバングラデシュとカナダという順位でした。

24ねんど ほいくしよにゆうしよあんない(だい1じ) はいふ:11/1~、うけつけ(よやくせい):12/5~

24ねん4がつからのほいくしよとほいくえんのにゆうしよをきぼうするこどものもうしこみのうけつけをおこないます。ほいくしよへにゆうしよをきぼうするこどもは、もうしこみのときにめんせつをしますから、いっしょにつれてきてください。

《たいしゅう》

しごとをしている(1にち4じかんいじょうで1かげつ16にちいじょうはたらいている)、がっこうにかよっている(しごとのじょうけんとおなじ)、しゅっさんよていびのぜんごでそれぞれ8しゅうかんに、にゅういんまたはざいたくりようようちゅう、しょうがいじ(しょうがいしゃ)のかいごをしているなどのりゆうで、こどものほいくがこんなんひと。

- ※ ほごしゃいかいのひとがほいくできるほあいをのぞく
- ※ もうしこみしよは11/1~しやくしよのこどもほいくかではいふしています。しやくしよのほむべーじからもだうろーどできます
- ※ そのほかにしよるいかひつようになることがあります

《うけつけとめんせつ》

と き … 12/5~16、9:00~11:40、13:00~17:00

ばしよ … こどもほいくか

※ じぜんにでんわでよやくしてからきてください

※ しよるいにふびがあるばあいとゆうそうではうけつけていません。かならずほごしゃがきてください

※ にんていこどもえん:たけのこほいくえんは、もうしこみかかんがこととなりますので、ごちゅういください

※ ひっこしよのよていがあるなど、よつかいどうしいかいはほいくしよをきぼうするひとはもうしこみかかんがこととなりますので、11がつちゅうにこどもほいくかまでれんらくしてください

◎12がつのうけつけかんにまにあわなかったひとは、だい2じうけつけ(めんせつ)にきてください。
と き … 24ねん2/1~15、9:00~11:40、13:00~17:00 ※よやくはひつようありません

といあわせ…こどもほいくか TEL:421-2126 ※こどもほいくかはどうび・にちようび・しゅくじつはおやすみです

English

**2012 Information for Entering Nursery (1st application period)
Distribution is started from November 1. Registration (reservation system) is started from December 5.**

Nursery schools and day-care centers (hereafter Nursery schools) are now taking applications for students who wish to enroll starting April 2012. Interviews will be conducted at application time so please bring your child when applying. Applications cannot be accepted by mail.

[Eligibility]

Parents who face difficulties in caring for a child. Applicable reasons include:

Work (4 hours or more a week, and 16 days or more a month), Enrolled in school (same time restrictions as for working parents), Pregnancy (8 weeks before and after the expected delivery date), Admission to a hospital, or receiving home care, Caring for a disabled child or adult.

※ Situations where an adult besides the guardian can care for the child are excluded.

※ Application forms can be picked up at the Child Care Department starting Nov 1(Tue) (except Sat., Sun., and national holidays) or downloaded from the Yotsukaido website.

※ Additional documents and paperwork may be required.

[Submitting Applications and Interviews]

When: From Dec 5 (Mon) to Dec 16 (Fri) 9-11:40 a.m., 1-5 p.m.

Where: Child Care Department. (Please call in advance to schedule a time).

※ We cannot accept applications by mail, or incomplete applications.

Only the child's legal guardian may submit an application.

※ Please note: Takenoko Nursery Center has a different application period.

※ For applicants planning to move and desire Nursery Schools facilities outside of Yotsukaido: the application period is different, so please contact the Child Care Department.

◎For those who cannot apply or attend interviews by the December deadline, please apply during the Second Application Period.

When: Feb 1 (Wed)-15(Wed) (except Sat., Sun., national holidays.)
9-11:40 a.m., 1-5 p.m.(※Reservation is unnecessary.)

For further information: Child Care Department (043 421-2126)

Yotsukaido-City Nursery Center List		
Name	Address	Tel
Chuo Nursery Center	895-33, Shikawatashi	423-0061
Chiyoda Nursery Center	5-30, Chiyoda	423-4872
Satsuki Nursery Center	1094, Shikawatashi	432-3777
Yotsukaido Nursery Center	3-10-9, Yotsukaido	422-2720
Dainichi Nursery Center	895, Dainichi	421-0415
Angel Station Nursery Center	1-13-1, Yotsukaido	424-3327
YuYu Nursery Center	685, Warabi	308-3295
Chuo Nursery Detached Center	2-13, Misora	433-4105
Department of Childhood Care and Education Takenoko Nursery Center	2531-9, ShimoshizuShinden (in Yotsukaido Satsuki Kindergarten)	423-2201
※ Chuo Nursery Detached Center at Misora primary school West school building 1F		
※ A person who wishes to be Takenoko Nursery Center, should be directly applied for this nursery. During reception from 7 to 18 November.		

中文版

**24年度进托儿所的向导(第1次)
散发从11月1日开始, 受理(预约制)从12月5日开始**

希望从24年4月进托儿所・托儿园(以下叫「托儿所」)孩子的申请就要开始受理。因为申请时一起进行面试, 请一起带来希望进托儿所的孩子(邮寄不接受)。

《对象》

有工作的(工作时间和日数=1日4小时以上而且1个月16日以上)、上学校的(条件工作和同样)、生孩子预定日前后各8周、住院或在家疗养中、看护着残疾儿童(者)等理由孩子的保育困难的人

※不含监护人以外的人能保育的情况

※申请书从11月1日开始散发在孩子保育课(除星期六・日、节日),

从市政府官方网站也能下载。

※除此以外有可能需要添加文件

《受理和面试》

日期 … 从12月5日到16日(除星期六、星期日、节日)

上午9点到11点40分、下午1点到5点

地方 … 市政府孩子保育课

※先用电话预约之后请来。

※文件有不完备的情况和邮寄不接受。必定监护人自己请来。

※『认定小孩园たけのこ保育园』因为申请期间不同请注意。

※由于有搬家的预定等理由希望市外的保育所的人, 因为申请期间不同, 在11月中请联络孩子保育课。

◎没赶得上12月的受理期间的人, 请利用第2次受理(面试)。

日期 … 从24年2月1日到15日(除星期六・星期日、节日)

上午9点到11点40分、下午1点到5点 ※不用预约

询问处: 市政府孩子保育课 TEL 421-2126

市内托儿所(园)一览		
名称	地址	电话
中央托儿所	鹿渡 895-33	423-0061
千代田托儿所	千代田 5-30	423-4872
さつき托儿园	鹿渡 1094	432-3777
四街道托儿园	四街道 3-10-9	422-2720
大日托儿园	大日 895	421-0415
天使车站托儿园	四街道 1-13-1	424-3327
ゆうゆう托儿园	和良比 685	308-3295
中央托儿所分所	みそら 2-13	433-4105
认定小孩园 たけのこ托儿园	下志津新田 2531-9 (四街道さつき幼儿园内)	423-2201
※中央托儿所分园在みそら小学校西側校舍1楼		
※希望进认定小孩园 たけのこ托儿园的人, 需要直接申请该托儿所。 受理期间从11月7日到18日。		

ここでは、YOCCAの各部会の活動内容を簡単にご紹介します。

日本語学習部会

「市内で暮らす外国籍の人たちを対象に、日本語を学ぶお手伝いをする」活動を行っています。通年事業の「にほんご教室」では、週4日の一般クラス、外国籍市民親子のためのおよこサークル、外国籍の小中学校生のジュニアクラスのほか、学校での日本語指導なども行なっています。毎年11月には日本語スピーチ発表会を開催しています。その他参加者が料理を持ち寄るポットラックパーティーも実施します。日本語ボランティアの経験の有無は問いません。日本語を習いたい外国籍市民、日本語ボランティアを希望する人の参加をお待ちしています。

これまでのイベント

2011/11/3:日本語スピーチ発表会@四街道市民文化祭
通年事業:にほんご教室



姉妹都市部会

前身の「四街道・リバモア姉妹都市市民の会」時代から34年にわたり、アメリカ・カリフォルニア州リバモア市と、国籍や人種を超えた厚い友情と深い絆を育んできました。当部会を通じ、リバモア市と四街道市の間で相互に市民および短期留学生の受け入れ・派遣を行っています。

これまでのイベント

2011/8/27:ふるさとまつり出店
2011/10/21~28:リバモア短期留学生および随行者受入
2011/11/12~13:産業まつり出店



交流部会

「楽しく!力を合わせて!」が私たちのモットー。各国の手作り料理を販売する「ワールドキッチン」の出店(社協まつり)や、会員同士や市民との親睦を図るためのイベントなどの企画・運営を通じて、市民の国際交流を推進しています。「こんなイベントをやってみたい!」という皆さんからのアイデア、大歓迎です!

これまでのイベント

2011/10/16:ワールドキッチン@社協まつり



通訳・語学研修部会

国際的に活躍してきたビジネスパーソンや、国際交流に夢をいだく若者、そして日本語が堪能な外国籍市民などが集まる「通訳・語学研修部会」。各国語での通訳翻訳ボランティア活動を行う一方、語学教室や通訳・翻訳に不可欠な各分野の知識を深めるための勉強会の開催を通じて、ボランティアのためのスキルアップに努めています。この夏には子ども向けの英会話教室も開催しました。幅広い世代、より多くの市民のニーズに答えられる部会でありたいと思います。

これまでのイベント

2011/8/22:すくすくEnglish@美しが丘自治会館
2011/10:リバモア短期留学生受入事業への通訳派遣
通年事業:英会話教室(入門・初級・中級)、通訳翻訳勉強会





YOCCAの会員を紹介するコーナーです。
自己紹介をしてくださる人を募集中です。
詳しくは協会までお問い合わせください!

現在、高校3年の山下真知です。
中学時代はバスケットに励み、リバモアの短期留学を経て、高校2年生の時にテキサスに10カ月ほど滞在しました。
将来は、小学校の先生になって、英語の楽しさを伝えたいです。



12月～2月のイベントスケジュール

12月11日 ポットラックパーティー
場所：四街道商工会館
受付：11時30分
開始：12時00分
2月 日本語ボランティア養成講座



ホームステイ・ホームビジット ボランティア募集!

YOCCAは通年事業として海外の人たちに日本を体験してもらう“ホームステイ・ホームビジットプログラム”を開始します。例えば『外国人留学生の週末を利用した日本家庭の体験』、『成田空港到着後の国内旅行準備』、『日本ならではの季節行事体験』など、日常生活に根ざした国際交流をしていただけるボランティアを募集しています。詳しくは協会までお問い合わせください。 国際交流協会事務局 TEL:043-312-6173 毎週月曜・水曜・土曜 午前10時～午後3時

姉妹都市リバモア訪問団員募集

当市の姉妹都市であるリバモア市(アメリカ合衆国カリフォルニア州)へ訪問団を派遣します。皆さんも訪問団の一員として参加してみませんか?

日程：3月15日～22日<6泊8日> 参加費：200,000円以内
旅行内容：リバモア市ではホームステイ(全泊)

1日目：成田発⇒サンフランシスコ到着後リバモア市へ
2～6日目：リバモア滞在
7日目：リバモア市からサンフランシスコへ移動、帰国の途へ
8日目：成田着

募集人員：15人程度(先着順)

申込受付：12月3日より13日までの間に国際交流協会・姉妹都市部会まで
氏名、住所、電話番号、生年月日をご連絡ください。

申し込みは下記メールアドレスのみにて受け付けます。

E-mail: sistercity@y-o-c-c-a.org

*参加費、旅行内容、募集人員は諸般の事情により変更となる場合があります。

*中学生以下の人は保護者同伴で申し込みをお願いします。

*決定者には12月22日までに説明会の日程を電話で連絡します。

問い合わせ：国際交流協会姉妹都市部会 TEL:043-312-6173
毎週月曜・水曜・土曜 午前10時～午後3時

にほん語教室・おやこサークルの保育ボランティア募集

にほん語教室・おやこサークルでは保育ボランティアを募集しています。おやこサークルは毎月第1・2・3金曜日の午前10時～正午福祉センター3階・視聴覚室で行っています。詳しくは下記までお問い合わせください。

日本語学習部会・保育担当:馬場
TEL&FAX:043-423-1318

編集後記

設立から5カ月にして初めての協会広報誌の発行。全てが初めての作業の中で《協会がやっていること・やろうとしていること・目指していること》を、多くの人に知ってもらえるように構成を考えて制作しました。何よりも読んで楽しんでもらえるように、気軽に手に取ってもらえるようにというのを心掛けましたが、まだまだ試行錯誤の連続です。

『こんな内容載せてほしい』、『ここはもっとこうしたら?』などのご意見・ご感想・ご要望など、お寄せください。

編集スタッフ

編集長：茅森 由佳(Yuka Kawamori)

取材・執筆：徳橋 功(Isao Tokuhashi)

Devon McNare(デボン マクネア)

写真撮影：白石 明子(Akiko Shiraishi)

監修：鈴木 淳雄(Atsuo Suzuki)



★会員を募集しています★

市民の皆さんの幅広い参加を通して積極的な国際交流活動を進めるため、協会の事業に賛同して下さる個人・団体の「会員」を募集しています。皆さんからの会費は国際交流や多文化共生の事業に活用させていただきます。

会費 個人：1口2000円/年 家族：1口3000円/年
学生：1口1000円/年 法人・団体：1口10000円/年

申込方法 国際交流センターにて、申し込みを受け付けています。また、電話をいただければ「入会申込書」を郵送します。ご記入後に当協会へ郵送・FAX・メールにて送付いただくか、協会窓口までお持ちください。なお「入会申込書」は協会HPからもダウンロードできますのでご利用ください。

四街道市国際交流協会

【開館日】毎週月曜日・水曜日・土曜日

午前10時～午後3時

※開館日が祝日にあたる場合はお休みになります。

〒284-8555 千葉県四街道市鹿渡2001-10

四街道市役所第二庁舎1階

国際交流センター内

TEL. 043 - 312 - 6173

FAX. 043 - 312 - 6176

E-mail. info@y-o-c-c-a.org



<http://www.y-o-c-c-a.org/>

